

遊佐町教育委員会  
会 議 議 事 録

令和3年7月27日開催

遊佐町教育委員会

## 遊佐町教育委員会会議議事録

会議日時 令和3年7月27日（火曜日） 午後2時56分  
会議場所 遊佐町役場 議事所  
開会時刻 開会宣言（教育長） 午後2時56分  
閉会時刻 閉会宣言（教育長） 午後3時27分  
出席委員 教育長 那須栄一 第一教育長職務代理者 渡邊宗谷  
第二教育長職務代理者 石川茂稔 委員 石山幸子 委員 齊藤敦子  
欠席委員 なし  
委員及び傍聴人を除くほか、議場に参加した者の氏名  
教育課長 菅原三恵子 課長補佐兼総務学事係長 鳥海広行（書記）  
学校指導係長兼指導主事 佐藤健太郎

### 議 題

- 議第15号 令和4年度使用小学校教科用図書及び特別支援学級教科用図書の採択について
- 議第16号 令和4年度使用中学校教科用図書及び特別支援学級教科用図書の採択について
- 議第17号 令和4年度使用特別支援学校（特別支援学級）用教科用一般図書の採択について
- 議第18号 遊佐町教育委員会事務の管理及び執行の点検及び評価に関する報告の承認について

### 諸事の概要

教育長 これより遊佐町教育委員会会議を開催いたします。  
本日、教育長及び教育委員4名全員の出席で定足数に達していることをご報告します。  
本日の会議日程は、あらかじめお手元に配布しました資料のとおりであります。

教育長 次に日程第1、令和3年6月25日の会議議事録の確認をいたします。  
議事録について書記をして要約し朗読いたさせます。

書 記 （前回の議事録について、会議日時、出席委員、提出議題とその顛末等を要約して朗読）

教育長 ただいまの書記朗読のとおりであります。委員の皆様には後ほど記載内容をご確認していただくとして、朗読内容にご異議ございませんか。

（全員より「異議なし」の声あり。）

教育長 ご異議なしと認めます。それでは後ほど議事録に署名願います。

教育長 続きまして日程第2、  
議第15号 令和4年度使用小学校教科用図書及び特別支援学級教科用図書の採  
択について  
議第16号 令和4年度使用中学校教科用図書及び特別支援学級教科用図書の採  
択について  
議第17号 令和4年度使用特別支援学校（特別支援学級）用教科用一般図書の採  
択についてまでの3議案を一括上程致します。  
書記をして議案を朗読いたさせます。

書記 (上程の議案を朗読)

教育長 提案者より提案の理由を求めます。

教育課長 (議第15号～議第17号について説明)

健太郎先生 (補足説明)

教育長 それでは、これをもって提案理由の説明を終わります。  
これより議第15号から議第17号までの議案について一括して質疑に入ります。  
何かご質問ご意見等はございませんか。

(全員「なし」の声あり)

教育長 それでは、これをもって質疑を終了致します。  
これより、議第15号 令和4年度使用小学校教科用図書及び特別支援学級教科用  
図書の採択について  
議第16号 令和4年度使用中学校教科用図書及び特別支援学級教科用図書の採  
択について  
議第17号 令和4年度使用特別支援学校（特別支援学級）用教科用一般図書の採  
択についての件を採決致します。  
本案を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(全員「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決しました。

教育長 続きまして日程第3、議第18号 遊佐町教育委員会事務の管理及び執行の点検及  
び評価に関する報告の承認についての件を議題と致します。  
書記をして議案を朗読いたさせます。

書記 (上程の議案を朗読)

教育長 提案者より提案の理由を求めます。

教育課長 (議第18号について説明)

書記 (補足説明)

教育長 それでは、これをもって提案理由の説明を終わります。  
これより質疑に入ります。何かご質問ご意見等はございませんか。  
石川委員。

石川 茂穂 はい。私の方から2点ほどあるんですけども、1点目は前回の会議の時に渡邊委員さんが指摘して下さった所なんですけど、8ページの下から6行目の所なんですけど、『不登校の児童生徒』の方、今日私もやっぱり読んでて気になったものですから、前回『不登校の児童生徒についても近年良好な状況にあります』というような表現なんですけども、何となく『良好な状況』でも、例えば『近年は減少しておりますが、今後も十分な対応…』とかという表現にして頂いた方が、何となく『不登校が良好だ』と言うと、ええ。ここちよっと前段も指摘して頂いたんですけど、若干表現変えて…。

教育長 ここ直ってないですね。  
健太郎先生ですかね、これはどういう趣旨なんですか。数的なことなのか、不登校は若干いるだけなんですけども、しっかり居場所はあるのか、学んでいるとかそういう事なのか、良好だというのはどういう…。直してもいいですね、これね。

健太郎先生 すみません。人数が少ないということになります。

教育長 分かりました。  
じゃあ、こんな風に直りますでしょうか。『不登校の児童生徒についても』、「も」が良いのか、「は」が良いのか…。「は」で良いんじゃないか。何も起稿と一緒にしなくても良いんじゃないか。『不登校の児童生徒については数的にも近年は少ない状況にあります』、あるいは『数的』要らないか。『…については、近年は少ない状況にあります』で良い。要するに少ないという事が分かれば良い訳だから。

石川 茂穂 そうですね、分かるんですけどね。多分。

教育長 ここ、もう一度言います。『不登校の児童生徒については、近年人数が少ない状況にあります。』これで良いんじゃないですか。これの方が分かりやすいですね。  
じゃあ、ここは直して完成版にするという事で宜しいでしょうか。

書記 はい、かしこまりました。

教育長 はい、2点目どうぞ。

石川 茂稔 はい、2点目ですけれども、今回加藤先生とそれから武田先生の評価を読ませて頂いて、大変素晴らしい評価を頂いてありがたいなという風に思いました。先週ですね、私、高瀬小学校の閉校記念事業の実行委員会の第1回目がありまして、各地区でも閉校に向けた取り組みが始まってきているのかな、という風に思うんですけれども、まさに加藤先生が23ページの所で指摘して下さった『3 特に』という所ですが、統合を前にした6地区の祭りのあり方とか、行事のあり方、協議会と学校の関係のあり方、こういったことがやはり話題になりまして、閉校と共にやっぱりこういうことも地区の行事等については話題になってくるのかなという風に思ったものですから、祭りのあり方とか、そういったことは町全体として協議して頂いて、同時進行で検討していかないと、やっぱり地区の方々も不安に思うところがあるのかな、と思ったものですから。閉校関係のことよりも、そういった各地区の行事はどうなるんだというところが何か盛り上がっていて、教育委員会の方とこれから時間かけて検討していくんじゃないかという漠然とした形で閉会となったんですけれども、やっぱり町としても早めに検討して頂いて、方向性というんでしょうか、これを早めに検討して頂ければな、という風に感じましたので、宜しくお願いしたいと思います。

教育長

最終的に各地区の行事であり、祭りですので、各地区で主体性を持って、こうしていきたい、拡充あるいはコンパクトにするのも含めて出されると思いますけれども、要は今まであった6地区に学校が無くなるということで、その関連ではどうということが地区として、あるいは行政として考えていかなければならないかな、ということだと思いますので。健太郎先生、学校部会ではね、一度大きな結論は出てましたけれども、その中で特に校長会とまち協の関係とか、いろいろな関わり方があると思いますので、そういう声もあるってということも意において、これから特に協働のまちづくりの研修会も年度末に予定されていますので、ぜひその時は教育委員の皆さんにもご案内申し上げて、3月かな、中央から文部科学省の長田徹先生でしたよね、協働のまちづくりとかコミュニティスクールとか、そういった地域と共にある学校について大変勉強している方がおいでになって、その方の話をベースにする協働のまちづくりについて話し合いたいということ、午前中の教育委員会の係長会議があるので、ぜひそういう場で確認しながら、各地域の思いを聞きながらも、それは行政として出来る事と出来ない事がある訳ですので、その辺をきちんと見極めて、互いに理解、納得しながら進めて行くということになります。では、そういうことで、この辺も教育委員の方より入って頂いて、その後町としてどういう風に教育委員会なり、各地区の協働のまちづくり研修会等で考えていたかということ、次の来年度の評価に出せるような形を作って。ですから、これで一部修正頂いてまとめる訳ですけれども、次の係長会ではこれを一回持ち寄って、こういうご意見があったんですよ、それをどう評価して次の下期の施策に活かすのか、あるいは来年度につなげていくのか、それをきちんと、それはそれ、これはこれとして反映させていくというご意見を頂いたと思いますので、ありがとうございます。あと皆さん宜しいですか。はい、渡邊委員どうぞ。

渡邊 宗谷 加藤先生の記述の中で、去年も評価頂いた中で非常に広範囲で評価頂いて、我々と

してはありがたかったな、とと思ってたんですけども、今年加藤先生こう書いて頂いた中で去年良く書きすぎたっていう、私は良かったかなと思ったんですが、武田先生の方ですけども、例えばその中でGIGAスクール構想というか、去年も知恵絞ってもなかなか範囲が決められてしまってるような状況、こういうものは外部の方からいろんな知恵を頂いて、こういうことが出来ますよ、みたいなことでそれで結構だと思うんですけども、加藤先生も中には書いているんですけども、遊佐町の時間の流れ、要するに生活の流れの中で、まあ一瞬というか、その風情を切り取った瞬間に対して、こうでしたよ、と人が例えば、子どもがこう動いたとか、町の人がかう動いたとか、そういうものを具体的に挙げて評価して頂いたというのは、町民以外の方からの評価としてはありがたいなあと、学術的な評価ではなくて、我々の時間を生きている生活の上で評価して頂いたのは非常にありがたかったなあと、思って非常に感心しました。

あとは教育長さんとか課長さんにもお願いはしてあるんですけども、この方々の評価に対して今年の計画とか出てきている訳ですけども、これをどうやってまた今年の後半に活かして、来年の弾みにしていくのをどうやって引き継いでいくかというのを、引き続きこういうものを参考にして、肥やしにして頂ければなあと、思いますので、私からはこのことを提案します。

教育長

そして、前段、午前中係長等の打ち合わせやったんですけども、その中でも令和4年度の来年度、いよいよ第2次教育振興基本計画において5年目、節目になる、見直しの大変な時期なんです。その改訂に結び付けて今から動き出そうということで確認をしたところですので、ぜひ原案も「私は読んでいませんでした」ということのないように、ここだけでも目を通して、自分達のポジションではこういう提案、こういうご指摘がありましたよ、これをきちんと次の係長会でどういう風に活かしたいとか、こういう風なご意見はこういう風に進捗しているとか、あるいは5年の大きな改訂、教育基本計画の見直し、こういう風に結び付けていきたいとか、そういうコメントを、10月でしたかね、次の係長会ね、そこまで準備させて下さい。それが無いとあと、気付かないで、忙しいものだからあと、指摘あったこと気付いてもらってもそれまでだというのは「うーん」ということのないように、お互いに留意したいと思っておりますので、やっぱり提案してくれた人はその後どうなったのかな、ということで見つめていると思っておりますので、来年も評価お願いするということは、来年度はいないのかもしれませんが、十分課長なり、担当の方から配慮して下さい。学校教育は健太郎先生そのままいるわけですので、そういうことについても宜しく申し上げます。

他にご質問ご意見等ございませんか。

(全員「なし」の声あり)

教育長

それでは、これをもって質疑を終了致します。  
これより、議第18号 遊佐町教育委員会事務の管理及び執行の点検及び評価に関する報告の承認についての件を採決致します。  
本案を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(全員「なし」の声あり)

教育長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決しました。  
以上をもって、本日の本委員会に付議された案件の審議は全て終了しました。  
これをもちまして、遊佐町教育委員会会議を閉会いたします。

遊佐町教育委員会会議規則第19条の  
が定めるところにより、ここに署名する。

令和 3 年 8 月 20 日

教 育 長

那須栄一

教育長第一職務代理者

渡邊宗谷

教育長第二職務代理者

石川茂樹

委 員

石山幸子

委 員

齋藤敦子

事 務 局 職 員

鳥海広行